

## 第53回 自治会長と市長との懇談会

日時：令和4年10月28日（金）午後6時30分～7時40分

会場：府中の森芸術劇場 平成の間

出席者：55名（自治連役員、自治会員）、15名（市長、行政幹部） 総計70名

※「府中市自治会連合会」は「自治連」と記述

### <式次第>

- 1, 司会挨拶 谷本事務局長（自治連）
  - ①事前に戴いた各自治会・町会からの質問や意見及び自治連からの代表質問に対する回答は書面にて府中市より戴き、皆さんに配布しました。
  - ②自治連の代表質問は簡略にしてフリーディスカッションの時間を多く取りました。
- 2, 挨拶 志水会長（自治連）  
高野市長（府中市）
- 3, 府中市職員紹介
- 4, 代表質問 山岡副会長（自治連）
  - 「町会・自治会の保有する会館でのWIFI設置について」  
回答 市民協働推進部 山下部長  
⇒デジタル技術の活用は認識も設置に対する費用対効果の検証が必要。  
その他、①市民協働対策部 「自主防災資機材の助成金制度について」  
⇒各自治会の活動実態を把握し効果的な支援を検討し、補助制度を随時紹介。
  - ②生活安全対策部 「市内中高層建物の震災対策について」  
⇒中高層建物の市民及び要配慮者への物資運搬の共助の取組みと、食料を多めに備蓄をするよう啓発。
  - ③環境対策部 「緑道及び遊歩道等の植栽、剪定時期等について」  
⇒低木は年1、中高木は5年に1回剪定。植栽は都の苗木供給を活用。
  - ④福祉対策部 「福祉避難所開設計画と現状の確認について」  
⇒各文化センター、ルミエール府中、生涯学習センターを福祉避難所に指定。  
要配慮者の一時的受け入れとして17か所の福祉施設と協定締結。
- 5, フリーディスカッション 谷本事務局長
  - 1) 小柳町南町会 山下会長 「避難所の在り方と避難計画について」
    - ・風水害の発生時にハケ下の高齢者がハケ上の避難所に避難するのをためらっている。ハケ下にある既存の施設を避難所にするなどの避難計画の見直しを要望回答 高野市長  
⇒風水害の対策はハザードマップに表示。総合防災訓練や避難所開設などの内容を今後の課題として検討。
  - 2) 清水ヶ丘3丁目自治会 奥田会長 「町内の道端にスタンドパイプを設置希望」
    - ・大災害時の初期消火に備えてスタンドパイプの設置を消火栓付近に希望回答 総務管理部防災危機管理課 岩田危機管理監  
⇒設置希望場所が道路上の消火栓付近で許可が困難。許可基準に沿った設置要望を。
  - 3) 押立町2丁目自治会 染谷会長 「ごみ収集ボックス跡地の利活用について」

・ごみ収集ボックス跡地を防災危機用具類置場として利活用の許可を希望

回答 総務管理部 沼尻部長

⇒防災用具置場の確保は課題。関係部署と協議し具体的な対応を検討。

4) リムザ自治会 大屋副会長 「自動起動ラジオの配備について」

・災害時の情報収集にラジオは有効で市民への配備を要望

回答 高野市長

⇒情報収集は大事。正確な伝達も大事。避難が優先。

5) 天神町4丁目自治会 今井副会長 「応急仮設住宅について」

・災害発生後の仮設住宅の建設場所や戸数等の計画は

回答 総務管理部防災危機管理課 岩田危機管理監

⇒応急仮設住宅の件は現在未定。広いエリアが必要で地域防災計画に沿って調査します

6) 白糸台1丁目会 森脇会長 「防災倉庫の設置について」

・防災倉庫の設置について、申請時の対応部署が複雑

回答 総務管理部防災危機管理課 岩田危機管理監

⇒対応部署が縦割り。今後は横断的に対応。

7) 四谷1丁目自治会 近藤会長 「自主防災連絡会の活動について」

・市内の11の自主防災連絡会で自主防災組織は3団体のみ。早急な立ち上げを。

自治会が主体だが自治連がリードを。

回答 総務管理部防災危機管理課 岩田危機管理監

⇒コロナ禍で圏域の自主防災連絡会の開催が出来ず。今後の課題として邁進。

6, 市長の感想 高野市長 (府中市長)

7, 閉会のことば 谷本事務局長 (自治連)

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--